ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

建築用塗料

ハイラバーウォール

［ 高弾性防水形仕上工法 ］

上塗り

水　性

はけ対応

ローラー対応

神東塗料

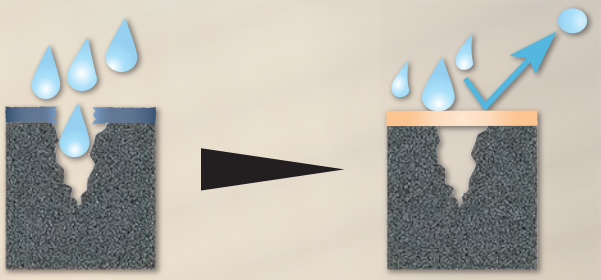
ハイラバーウォール

［ 高弾性防水形仕上工法 ］

ハイラバーウォール工法は、高弾性、高耐久性主材と高耐候性上塗を組み合わせた工法です。建物に発生したひび割れに追従することにより躯体の保護、防水効果が得られます。上塗材は高弾性にもかかわらず低汚染化処方を施すことで硬質形と同等の低汚染性を有しています。また、長期耐久性に優れ、主材層を保護します。

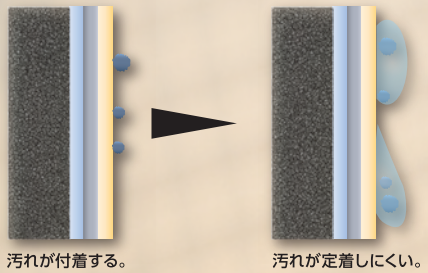
高弾性

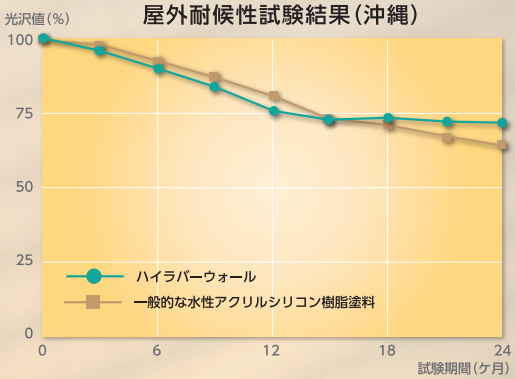
コンクリートおよびモルタルなどに生じるひび割れに対して高弾性主材が躯体を長期間保護します。



**防　水
高耐久**

主材（ハイラバーウォール主材）はJIS A6021（建築用塗膜防水材）の耐疲労性試験に合格しており、防水性、長期耐久性に優れ、躯体を保護します。





**高耐候
低汚染**

**上塗の「ハイラバーウォール上塗」は耐候性に優れたアクリルシリコン樹脂塗料です。
また、低汚染化処方により優れた耐汚染性を発現します。
耐久性に優れ、長期にわたり主材層を保護します。**

水　性

ハイラバーウォール工法は全て水性塗料であり、安心して取り扱いできます。
《ハイラバーウォール主材、ハイラバーウォール上塗とも、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆です。》

被塗物

壁面防水材等の弾性塗膜面、各種旧塗膜および新設面（コンクリート、モルタルなど）への塗装。
※旧塗膜および下地の状態によっては下塗材を浸透性エポキシシーラー等に変更するか、下塗材を省略することがあります。

**適用
箇所**

物流倉庫、工場、集合住宅など長期耐久性が要求される建築物（コンクリート、モルタルなどの）外壁面、および建物の内壁面。

High-RUBBER WALL

▶荷 姿・色

製 品 名	容　量	基　剤	硬 化 剤	色　相	一 般 名
ハイラバーウォール主材	18kg	-	-	白 色	水性1液アクリル樹脂系弾性主材
ハイラバーウォール上塗	15kgセット	14kg	1kg	調 色	低汚染形弾性水性2液アクリルシリコン樹脂塗料
シントー水性Mシーラー	15kg	-	-	-	カチオン形1液合成樹脂エマルションシーラー

※旧塗膜および下地の状態によっては下塗材を浸透性エポキシシーラー等に変更するか、下塗材を省略することもできます。

▶塗装仕様例

《さざ波仕上げ》

工　程	塗料名(希釈剤)	希釈率(WT%)	標準使用量(kg/㎡/回)	塗装間隔(20℃)	塗装方法
素 地 調 整	ワイヤブラシなどを用いて脆弱部分を除去し、付着しているごみ、粉等を完全に除去する。				
下　塗　り	シントー水性Mシーラー	無希釈	0.10～0.13	3時間～7日	中毛ローラー は　け
主材基層塗り	ハイラバーウォール主材 (水道水)	2～5	0.20～0.30	16時間～7日	中毛ローラー
主材模様塗り	ハイラバーウォール主材 (水道水)	0～3	1.0～1.2	16時間～7日	多孔質ローラー
上 塗 り - 1	ハイラバーウォール上塗 (水道水)	0～10	0.13～0.15	3時間～7日	中毛ローラー は　け
上 塗 り - 2	ハイラバーウォール上塗 (水道水)	0～10	0.13～0.15	————	中毛ローラー は　け

《防水型さざ波仕上げ》

工　程	塗料名(希釈剤)	希釈率(WT%)	標準使用量(kg/㎡/回)	塗装間隔(20℃)	塗装方法
素 地 調 整	ワイヤブラシなどを用いて脆弱部分を除去し、付着しているごみ、粉等を完全に除去する。				
下　塗　り	シントー水性Mシーラー	無希釈	0.10～0.13	3時間～7日	中毛ローラー は　け
主材基層塗り	ハイラバーウォール主材 (水道水)	0～3	1.0～1.2	16時間～7日	多孔質ローラー
主材模様塗り	ハイラバーウォール主材 (水道水)	0～3	1.0～1.2	16時間～7日	多孔質ローラー
上 塗 り - 1	ハイラバーウォール上塗 (水道水)	0～10	0.13～0.15	3時間～7日	中毛ローラー は　け
上 塗 り - 2	ハイラバーウォール上塗 (水道水)	0～10	0.13～0.15	————	中毛ローラー は　け

基本性能

■JIS A 6021 建築用塗膜防水材による耐疲労性能の品質

耐疲労性	いずれの試験体にも塗膜の穴のあき、裂け、破断があってはならない。	合　格

■JIS A 6909 防水形複層塗材 E の品質

項　　目		品　　質	試験結果
低温安定性		塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。	合　格
初期乾燥によるひび割れ抵抗生		ひび割れがないこと。	合　格
付着強さN/mm²	標準状態	0.7以上	1.03
	浸水後	0.5以上	0.60
温冷繰返し		試験体の表面に,ひび割れ,はがれ及び膨れがなく,かつ,著しい変色及び光沢低下がないこと。	合　格
透水性B法ml		0.5以下	0.3
耐衝撃性		ひび割れ,はがれ及び著しい変形がないこと。	合　格
耐候性　A法		ひび割れ及びはがれがなく,変色がグレースケール3号以上であること。	合　格
伸び	20℃時	伸び率120%以上	405
	−10℃	伸び率20%以上	25
	浸水後	伸び率100%以上	151.5
	加熱後	伸び率100%以上	146.7
伸び時の劣化		はく離,反り及びねじれがなく,主材に破断及びひび割れがないこと。	合　格

■複層仕上塗材の耐候形の品質

耐候性　B法　1種	照射時間が2,500時間以上で,塗膜にひび割れ,はがれ及び膨れがなく,光沢保持率は80%以上で,変色の程度がグレースケール3号以上であり,白亜化の等級が1以下であること。	合　格

※試験結果の値は社内試験による実測値であり、必ずしもこの値を保証するものではありません。※本製品はJIS表示をしておりません。

⚠ 施工上の注意

1.塗料の混合について

❶ハイラバーウォール上塗は2液混合形塗料(基剤・硬化剤)ですので、所定の基剤および硬化剤を使用し混合比を守って均一混合の上、塗装してください。

2.素地調整について

❶下地は十分に乾燥させ、下地表面に付着している塵埃、エフロ、油脂等は除去してください。

❷下地の不陸、豆板等の段差やピンホールは、サンダー掛け段差補修等を行って下地を平滑にしてください。

❸改修の場合、既存下地の老朽化した部分は除去し、凹部、ひび割れ等を補修し、施工してください。

3.施工上の注意点

❶塗装場所の気温5℃以下、湿度85%以上および換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。

❷外部での塗装において、強風時や降雨、降雪の恐れがある場合は塗装を避けてください。

❸被塗面温度が50℃を超える場合は、塗装を避けてください。

❹コンクリート、モルタル面への塗装で含水率10%以上(デジタル式水分計の場合は5%以上)、pH10以上の場合は、塗装をさけてください。

❺小出しにする場合は必ずはかりを用い、正しい混合比で計量混合してください。

❻基剤と硬化剤の混合は、混合比を守って実施してください。
基剤と硬化剤を混合後、使用可能時間を過ぎたものは使用しないでください。

❼希釈割合は、塗装方法、施工方法、施工条件によって異なります。事前にためし塗りをして、塗装条件やパターン、色を確認してください。

❽使用した塗装器具類は直ちに水洗いしてください。

❾施工にあたっては十分換気を行い、火気厳禁としてください。

4.塗料の注意事項

[下塗]

● 下地の吸い込みむらを防止し、下地と主材との接着をより強固にするためシントー水性Mシーラーもしくは浸透性エポキシシーラーを下地面に均一に、十分に塗装してください。

[主材]

● ハイラバーウォール主材は、見かけ粘度は高いですが、水希釈をすると低粘度になり、パターンが出にくいことがありますので、水希釈は控えめに行ってください。

● 吹付塗装の場合、クレーター状になるため吹付塗装は避けてください。

[上塗]

● 上塗材の基剤と硬化剤を混合する際、攪拌が不十分であると光沢低下などの影響が生じることがありますので、必ず動力工具にて攪拌を行ってください。

● 使用可能時間(23℃・4時間)を厳守してください。使用可能時間を超えて塗装した場合、汚れやすくなることがあります。

● 光沢むらとならないよう均一に塗装してください。

● 上塗は必ず2回塗りで仕上げてください。

5.取り扱いおよび貯蔵上の注意事項

❶火気のない局所排気を設けた場所で使用してください。

❷塗装中、乾燥中とも換気を十分行い、蒸気を吸い込まないようにしてください。

❸取扱い中は、皮膚に触れない様に、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、帽子、ヘルメット、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。

❹取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。

● 確実にフタをし、40℃以下の場所で保管してください。

❺捨てるときは、産業廃棄物として処理してください。

❻本来の用途以外に使用しないでください。

❼容器は垂直に持ち上げてください。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

6.緊急時および応急処置

❶火災のときは炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用いてください。

❷目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

❸誤って飲み込んだときには、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

❹皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化等がある場合には、医師の診察を受けてください。

❺容器からこぼれたときには、布で拭き取り、その布を水の入った容器に保管してください。

※安全に関する詳細な情報については、安全データシート(SDS)を参照してください。　※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング
神東塗料

本　社　〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代)　FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道　☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
東　北　☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813
東　京　☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
静　岡　☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091
北　陸　☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
名古屋　☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
大　阪　☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
中　国　☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821
四　国　☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108
九　州　☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

https://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。

このパンフレットは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。VEGETABLE OIL INK　TS1219 AT-4